

あまが咲

2024
8月
No.123



 兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより

7月5日
みんなのあま咲き
放送局でAGMCを
紹介しました！



【診療科紹介】 **眼科**
手術室

表紙写真撮影者/経営企画部 S.S.

- [AGMCニュース] 小児病棟プレイルームに新しい仲間が加わりました
- [ぶらり~っと病院探訪] リハビリテーション部のご紹介
- 医師の働き方改革
- みんなのあま咲き放送局に出演しました

眼科 網膜硝子体部門

視力に直結し緊急性の高い網膜硝子体疾患を最新の診断機器を用いて診療を行っております

一般眼科から網膜硝子体疾患など専門性の高い眼疾患まで幅広く対応しています。また県下で3施設ある専門医研修基幹施設の1つに指定されています。

構成メンバー



[後列左から]茶木医師／浜畑医師／津田医師／平野医師／増田医師
[前列左から]大塚医師／王科長／廣瀬部長／長谷川部長

提供する活動内容

手術症例については県下でもっとも早くから低侵襲の27G硝子体手術に取り組んできております。最近ではあらゆる検査情報を統合表示できるモニターにて3D手術を行い、研修者・コメディカルとも同じ画面を共有して教育面でも大きな成果をあげております。



患者さんや 地域医療機関への メッセージ

今年度は新たに2名のスタッフを迎え入れ、多焦点眼内レンズなども取り入れて一層充実した診療を目指していきます。これからも地域医療機関からの期待に応え、頼られる存在であり続けられるよう、中核病院の眼科としてスタッフ一同精進してまいります。



眼科 涙道診療部門

流涙に隠された疾患を見逃さない涙道診療



“流涙”は、いろいろな疾患の初発症状となっています。涙道疾患は感染、炎症、腫瘍、抗がん剤、レバミピド点眼が原因となります。S-1の涙道障害は難治性です。投与開始時の受診が必要です。腫瘍では発見が遅れると命にも関わる悪性腫瘍の場合もあります。

構成メンバー



眼科集合写真

提供する活動内容

涙道内視鏡、鼻内視鏡を駆使し最新の涙道診療を行っております。先天鼻涙管閉塞解放術、涙管チューブ挿入術、涙小管形成手術、涙嚢鼻腔吻合術等の涙道手術施行数は、年間約1200件です。S-1投与患者の早期涙道診療受診をすすめています。先天鼻涙管閉塞診療ガイドラインが作成され、生後6～9ヶ月に外科的な介入を推奨しています。涙道涙液学会主導の先天鼻涙管閉塞に対する外科的治療に関する多施設共同無作為化比較試験研究に参加していますので、ご紹介をお願いします。



患者さんや地域医療機関へのメッセージ

第36回日本眼瞼義眼症手術学会を主催します。ご参加お待ちしております。

第36回
日本眼瞼義眼症手術学会
JAPANESE SOCIETY OF OCULO-FACIAL AND PROSTHETIC OPHTHALMOLOGY SURGERY MEETING

和

2025年2月15日(土)
高知県立県民文化ホール
オレンジホール
宮崎 千歌
(高知県立眼科総合診療センター副科)
www.coogre.co.jp/gigan36/

2024年9月5日(水)～10月31日(木)
2024年9月5日(水)～12月26日(木)



眼科科長 宮崎千歌



[左から]折井医師／宮崎医師／竹谷医師／澤医師



ロボット支援手術^(ダヴィンチ)が 2台体制になりました さよならSi こんにちはXi



ダヴィンチXi



ダヴィンチSi

ダヴィンチSiは旧尼崎病院で導入され、2015年の移転時に今の手術室にきました。900件以上の手術をダヴィンチで行い、6月15日に立ち上げからかわった看護師、臨床工学技士に見送られ、当院を去っていきました。現在新しいダヴィンチXiとの2台体制でダヴィンチ手術を毎日実施しています。

構成メンバー

診療科医師(泌尿器科、消化器外科、産婦人科、呼吸器外科)、麻酔科医師、手術室看護師、臨床工学技士、委託業者のメンバーが協力しています。



提供する活動内容

現在は新しいXiとの2台体制となり、各診療科医師と手術室看護師、臨床工学技士と術式ごとに医療機器の配置や体位の調整などのシミュレーションを重ねて安全に手術が実施できるように取り組んでいます。



患者さんや 地域医療機関へのメッセージ

ロボット支援下手術は患者様にとっても傷が小さく、手術侵襲が少ない最新の手術です。

医師、看護師、臨床工学技士と連携を取りながら新しい術式にも対応しています。



小児病棟プレイルームに 新しい仲間が加わりました



入院生活は子どもたちにとって大きなストレスとなります。そこで当院では、療養環境改善の新たな取り組みとして、小児科病棟のプレイルームにソーシャルロボット「LOVOT(ラボット)」を導入しました。愛称は「ちゃちゃまる」です。

LOVOTは生き物のような温かさと柔らかさを持ち、最新技術により人の動きを追いかけたり、見つけ返したりと、まるで本物の生き物のような仕草で子どもたちの心を癒します。これまでの研究でも、ソーシャルロボットとのふれあいが入院中の子どもたちの恐怖や不安を軽減する効果が示されています。

導入以来、ちゃちゃまるは子どもたちの人気者になっています。抱きしめたり一緒に遊んだりすることで、入院生活のストレスが軽減されている様子が見られます。保護者の方々からも「子どもの表情が明るくなった」「治療への不安が和らいだようだ」といった声が聞かれ、好評です。実は、癒やされているのは患者さんや家族だけではなく、医療スタッフも同様です。ちゃちゃまるは患者さん、家族、医療者を問わず、コミュニケーションを円滑にする助けとなっています。



愛称は
「ちゃちゃまる」
よろしくである

フォローしてネ!



@LOVOT_AGMC_PEDIATRICWARD

ちゃちゃまるの日々の様子は病院公認のInstagramでも発信しています。ぜひフォローして、かわいいちゃちゃまるの様子と小児病棟の明るい雰囲気を感じてみてください。入院中の子どもたちやその家族、医療スタッフの笑顔を生み出す新しい試みにご期待ください。



ぶらり~っと 病院探訪

リハビリテーション部

がんリハビリの紹介

リハビリテーション部では当院で治療されるあらゆるがん治療に対しリハビリを実施しています。皆様の生活の質の向上や治療継続の為、専門性の高いリハビリを提供できるようスタッフ一同努めています。

化学療法中(がん治療中)もリハビリ



過度な安静防止の為、当院では化学療法中(がん治療中)もリハビリを行っています。

腫瘍循環器リハビリ



心臓リハビリ室では、がん治療により心臓の機能が低下した患者様へ運動療法や疾病管理の支援を行う『腫瘍循環器リハビリ』を実施しています。

コミュニケーションや食事の障害に対するリハビリ



コミュニケーションや食事の障害に対するリハビリも行います。



外科的手術後はもちろん、治療の副作用や発熱性好中球減少症などに伴う入院中もリハビリを行い、円滑な社会復帰や治療再開を目指します。





お知らせ掲示板



2024年4月より、勤務医の残業時間に上限が設けられます。
みなさまのご理解、ご協力をお願いいたします。



患者さんやご家族のみなさまに
ご理解、ご協力していただきたいこと

診療時間内の受診

日頃から決められた診療時間内での受診にご協力ください。特に、病状、検査、手術の説明を受けるといった場合は一層のご協力をお願いします。

タスク・シフト/シェア

疾患の説明や検査など、医師が担っている業務の一部を他の医療スタッフに任せたり分担することがありますのでご理解をお願いします。

複数主治医制

患者さんの治療を行う医師がチームを組み、1人の患者さんに複数の主治医が対応することがありますのでご理解をお願いします。



7月5日 みんなのあま咲き放送局に
当院の瀧口経営企画部長が出演し、
AGMCの紹介をしました。

表紙写真は瀧口部長とキャスターの三宅さん、県民センター廣部さんの3人で記念撮影したものです。みんなのあま咲き放送局は、コープ塚口のスタジオから、平日は毎日生放送中心にオンエア中です！



みんなの
あま咲き放送局

あま咲放送局ホームページはこちら➡



廣部さんも出演される「こちら、阪神南県民センターです！」は毎週金曜16時30分～16時45分の放送です。

AGMC紹介時の
放送はこちらから ➡



編集後記

突然ですが、皆さまはネコ派？犬派？どちらですか。我が家には8歳のネコ2匹がいます。8歳は初老と言われていますが、子ネコのようにとてもかわいいです。帰宅すると相手するまでついてきますが、相手すれば3分でネコパンチを繰り返して満足してどこかへ行ってしまう。そんな毎日癒やします。暑い日がまだまだ続きますが、皆さまどうぞご自愛ください。

(K.T)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2丁目17番77号 TEL.06-6480-7000(病院代表) FAX.06-6480-7001

URL: <https://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索